

ほのぼの News Letter



No.1 2014 年新春特別号

一般社団法人 ほのぼの運動協議会



(c) Lushpix Value www.fotosearch.jp

CONTENTS

- | | | | |
|---|-----------------|---|---|
| 2 | 2014 年 新年のごあいさつ | 6 | 第 5 回 地域貢献プロジェクト
JC-Comsa主催 “ほのぼの杯” ゴルフコンペ協賛 |
| 3 | 忘れな草プロジェクト | 7 | 第 1 回 ほのぼのフォーラム |
| 4 | 「安倍総理と障がい者の集い」 | 8 | お知らせ |
| 5 | 東日本大震災 被災地視察 | | |

2014年 新年のごあいさつ



一般社団法人
ほのぼの運動協議会

理事長 大河原 毅

明けましておめでとうございます。みなさまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと存じます。

ほのぼの運動協議会におきましては、昨年1月、8年の実績の下、もっと有効に寄附活動ができないうか、より多くの人に関わっていただける社会貢献ができないかという思いで一般社団法人化いたしました。

間もなく、それから1年が経とうとしています。

ひと言で1年という簡単ではありますが、この短期間の中、さまざまな出来事がありました。

まず、5月には総理官邸で行われた「安倍総理と障がい者の集い」に招待いただき、私たちの活動が広く認知される機会がありました。

7月には、例年どおり、各所属店舗さまの店頭において、地域に貢献している団体の公募を行いました。その結果、9月に寄附等を実施することができました。

また8月にはみなさまと一緒に東日本大震災の被災地を訪ねました。2011年以来、支援はしつつも、なかなか訪れる機会がないままの現地を、2年経った昨年、ようやく実際に自分たちの目で見て確認することができました。これまでの支援の様子を知ると同時に、まだまだ復興したとは言えない現状をそこから感じとることができ、今後の支援のあり方について考えるきっかけとなりました。

10月には、「第1回ほのぼのフォーラム」を開

催いたしました。

フォーラムと題したことで、これまでのスタイルから抜け出し、継続的に支援させていただいている団体さまの発表を参加者全員でじっくりと聞くことができるようになりました。参加企業のみなさま、日ごろ店舗で活躍されているみなさまにとって、私たちの活動が果たしていることをあらためて認識することができ、今後の活動にとっても大きな糧になったのではないかと思います。

そういった初年度を経て一般社団法人として2年目を迎える本年は、本格始動の年として、ほのぼの運動協議会ならではの独自の事業を始めたいと考えています。

その第1弾として、3月には「忘れな草プロジェクト」がスタートします。

これは、戦後日本が直面した最大の困難ともいえるべき2011年3月11日の東日本大震災を忘れないという思いを込めたチャリティ・イベントです。福島農業高校の学生たちに忘れな草の花を育ててもらい、それを宮城で加工したホタテ貝の貝殻とあわせて、銀座4丁目の交差点でチャリティ販売する震災復興支援事業です。

2020年には、東京でオリンピックが開催されることも決定し、いま日本は一段と大きく変わり始めています。そういった時代に、私たちの手作りとも言えるような事業がスタートすることは、非常に意義深いものがあるのではないかと感じています。

2014年、いままで行ってきた事業を継続しつつも、大いなる跳躍のはじまりとなるよう、より分かりやすいスタイルでほのぼの運動としての一体感が味わえるようなダイナミックな運営を心がけていきたいと思っています。

本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

忘れな草プロジェクト

2014年、新たなプロジェクトが始動しました。東日本大震災の復興支援を目的とした“忘れな草プロジェクト”です。3月7日(金)、8日(土)、9日(日)に、銀座でチャリティ・イベントを開催するため、支援先でもあるNPO 法人日本園芸療法研修会といっしょに現在準備中です。

2011年3月11日、日本を襲った未曾有の大災害、東日本大震災——。それからまもなく3年が経とうとしています。2013年8月には、ほのぼの運動協議会として初の被災地視察を行いました。震災後はじめて現地に足を踏み入れたメンバーは、復興というイメージとはかけ離れた現状に強い衝撃を受けました。まだまだやらなければいけないことがあると、今後も継続して支援することを決意しました。

一方で、被災地では、2020年のオリンピック開催に向け未来へと突き進んでいる東京とは対照的に、「取り残されている……」という思いを募らせていると言います。

そこで、当協議会では、「忘れな草＝被災地を忘れない」をキーワードとした「忘れな草プロジェクト」を行うことにしました。

昨年の夏に感じた「被災地への復興支援を忘れない」という思い、そして被災地からの「震災を忘れないでほしい」という思いを、「忘れな草」に込めてつなぎ、同時にそれを支援へとつなげていくプロジェクトです。

忘れな草には、ある伝説があります。ドナウ川のほとりを散策していた騎士ルドルフと乙女ベルタは川岸にかわいらしい花を見つけます。ルドル



(c) Lushpix Value www.fotosearch.jp
写真はイメージです。

フは手を伸ばしてその花を採ったものの、足を滑らせて川に落ちてしまいます。急流に流されながらルドルフはその花をベルタに向かって投げ、「私を忘れないで」と叫びながら、水中に没してしまったというものです。その花というのが、今日のワスレナグサだと言われています。

今回のプロジェクトでは、ほのぼの運動協議会で購入した苗を、福島農業高校の学生たちに育ててもらいます。それを視察でもうかがった宮城県南三陸町で加工したホタテの貝殻（協力：SOLA）といっしょに日本のトップフラワーアーティストであるKAORUKOさんにアレンジしていただき、3月7日、8日、9日の3日間、銀座のKAORUKO フローリスト銀座の前でチャリティ販売します。収益の一部は福島や宮城への寄附に、一部は翌年の資金として継続性のあるイベントにする予定です。同時に、宮城はホタテ貝の加工、福島は花卉園芸といった産業の創出にもつなげていけたらと考えています。現在3月のイベントに向け着々と準備が進んでいます。お時間のある方は、ぜひ当日、銀座へ足をお運びください。いっしょにイベントを盛り上げましょう。



安倍総理と障がい者の集い

2013年5月23日、総理大臣官邸南庭で「安倍総理と障がい者の集い」が開催されました。この会に、ほのぼの運動協議会会員としてほのぼのお好み鯛焼き本舗の店舗を運営、障がい者雇用をされている社会福祉法人 翔の会と株式会社 FVP が招待されました。

2013年5月23日。青空晴れ渡る新緑の季節に、総理大臣官邸南庭で、「安倍総理と障がい者の集い」は開催されました。

この集いは、障害者の芸術活動や就労の取組みにおける普段の活動等の紹介や、総理と障害者の方々が懇談を行う目的で開催されたものです。

官邸南庭の一角に、夢ある街のたい焼き屋さん 若松町店（社会福祉法人 翔の会運営・神奈川県茅ヶ崎市）と夢ある街のたい焼き屋さん（現おめで鯛焼き本舗）西調布店（株式会社 FVP 運営・東京都西調布市）のブースを設置。その場でたい焼きを焼いて、安倍総理にできたての「つぶあん」を召し上がっていただきました。

総理からは、「アタマまであんこが入っていておいしい」との言葉をいただくなど、励みになりました。なお、ほのぼの運動協議会では、スタッフ派遣、人件費補助などで協力いたしました。



ほのぼのお好み鯛焼き本舗 店舗一覧

『夢ある街のたいやき屋さん』

東京都／原町田店
埼玉県／与野店
神奈川県／若松町店
千葉県／大原店
栃木県／宇都宮陽西通り店
北海道／ハーバスター八雲店

『あびす黄金鯛焼き本舗』

東京都／小田急町田店 | 丸井国分寺店
千葉県／千葉三越店

『おめで鯛焼き本舗』

東京都／戸越銀座店 | 西調布店 | 昭島モリタウン店 | イオンモールむさし村山店 | ザ・マーケットプレイス東大和店
埼玉県／イオンモール川口前川店 | レイクタウン越谷店 | ピオニウォーク東松山店 | アリオ深谷店
神奈川県／トレッサ横浜店 | ラゾーナ川崎店 | 新百合ヶ丘エルミロード店 | トッカーナモール店 | 湘南モルフィル店 | 湘南台駅前店 | イオンモール大和店 | センター北あいたい店
千葉県／ららぽーと柏の葉店

栃木県／宇都宮ベルモール店
群馬県／スマーク伊勢崎店 | 高崎並榎店 | フォレストモール新前橋店
茨城県／常磐高速道路友部サービスエリア上り線店
静岡県／東名高速道路上り線足柄サービスエリア店
愛知県／アイモール三好店 | イオンモール東浦店 | イオンモール岡崎店 | メグリア店

東日本大震災 被災地視察

2013年8月21日、ほのぼの運動参加企業のみなさま、日ごろ店舗で活躍されているスタッフのみなさまといっしょに、日帰り被災地ツアーを行いました。

当日は午前8時すぎに東京駅に集合し、新幹線で仙台へ、仙台駅から沿岸部へは貸切バスで向かいました。その中で、自己紹介と今回の視察についての抱負をうかがいました。被災地の現状、支援の様子を直接見て感じたいというほかに、食事やお土産を購入することで少しでも現地にお金が入るようにしたいという声も多く聞かれました。

まず訪れたのは、震災により壊滅状態になった南三陸町の高台にあるホテル観洋です。眼下に太平洋を臨むホテル観洋は、震災時には避難所として多くの人々の助けとなりました。この日、ロビーでは3Dハイビジョンによる「東日本大震災～津波の傷跡～」の映像が流されており、みなさん食い入るように見ていらっしゃいました。地元食材をふんだんに使用した昼食をいただきながら、被災直後の様子を中澤竜生氏にうかがいました。

その後、東京から移住して子どもたちの学習支援を中心に活動されている SOLA の平田美保さん（夢ある街のたい焼き屋さん元店長）のガイドで、寄附先である日本園芸療法研修会と SOLA が共同で設置したガーデンに。私たちの寄附金で設置されたガーデンは、子どもたちが喜び集まる場所になっているとのことでした。



左はホテル観洋での昼食。右はバスの社内で中澤氏(左)と平田さん(右)と。

次に、同じく南三陸にある社会福祉法人洗心会のぞみ福祉作業所を見学しました。障害のある方の生活・作業支援を行っている生活介護施設で、震災前の建物は津波で流されてしまい、現在は仮設施設で作業していらっしゃるとのこと。この日は、牛乳パックを原料に紙漉きし、はがきを作

成していらっしゃいました。その手作りはがきやタオルが販売されており、みなさんお土産として買われていました。

その後、再びバスに乗り、悲劇の小学校と言われた石巻市の大川小学校を經由して、次の目的地へと向かいました。車窓から見える景色は、山側には青々と緑の生い茂っている一方、海側へ目を転じると、いまだ瓦礫の山や骨組みだけが残っている建物、途中で終わっている線路など、その対照的な姿に余計に震災の跡が痛々しく感じられました。

最後に東松島へ。ここでは寄附したピタパンを利用して「ひがまつバーガー」を開発した街づくりチーム・ソーシャルイマジジン代表の新城隼さんに話をうかがいました。津波の土砂があふれた商店街には、いまだに人が戻らず、そんな街をなんとかしたいと町興しを中心に活動されています。ここでは東松島の復興を願って仮設住宅から生まれた大人気商品“おのくん”人形や観光支援タンブラーを購入しました。

かなりのハードスケジュールではありましたが、継続的支援の必要性を強く感じたツアーでした。ほのぼのの運動として、今後もツアー第2弾、忘れな草プロジェクトをはじめ、さまざまな形で支援を続けていきたいと思えます。



のぞみ福祉作業所にて。はがきやタオルの購入に並びました。



大人気で品切れ中の“おのくん”を特別に用意くださいました。



南三陸町防災対策庁舎前で。

第5回 地域貢献プロジェクト

例年どおり、2013年も地域でボランティア活動をしている団体を応援する地域貢献プロジェクトを実施いたしました。厳正なる審査のうえ、5団体に30,000円の寄附を2団体にたい焼き30匹プレゼントをいたしました。

初夏5月より7月末まで店舗の店頭でポスターで公募した第5回地域貢献プロジェクト。少しずつ、着実に地域に浸透しているようです。

ほのぼの運動協議会では、参加されている各店舗が「この町にこのお店があってよかった」と言っていたらいいよう、小さな活動ではありますが今後も地域貢献プロジェクトを継続します。ぜひ、今年もより多くの店舗からの応募をお待ちしております。



寄附金30,000円 順不同

関東交通犯罪遺族の会 (通称あいの会)
 〈おめで鯛焼き本舗 ピオニウォーク東松山店推薦〉
 ● 交通犯罪により家族を失った方のための場づくり。

ファンキーキッズ & マム
 〈おめで鯛焼き本舗 新百合ヶ丘エルミロード店推薦〉
 ● 外国籍母子を含む子育て支援と国際交流。

麻生プレーパークを創る会
 〈おめで鯛焼き本舗 新百合ヶ丘エルミロード店推薦〉
 ● 神奈川県川崎市麻生区のコミュニティ創出。

ピオラの会
 〈おめで鯛焼き本舗 柏の葉らぼーと店推薦〉
 ● 精神保健福祉関係施設への慰問、社会参加の後押し。

NPO法人 自立生活支援センターくれぱす
 〈夢ある街のたいやき屋さん The Peanuts与野店推薦〉
 ● 障がいのある方の社会参加。

たい焼き30匹 順不同

ホワイトベル
 〈おめで鯛焼き本舗 高崎並榎店推薦〉
 ● 植花活動、炊き出しなどの地域防災活動など。

思いをつなぐ会
 〈おめで鯛焼き本舗 高崎並榎店推薦〉
 ● 子どものための放射能講演会や食育活動、植花活動など。

JC-Comsa 主催 “ほのぼの杯”ゴルフコンペ協賛



10月1日、小雨が時折降る中、神奈川県横浜市にある程ヶ谷カントリークラブにおいてJC-Comsaさま主催のゴルフコンペ“ほのぼの杯”が開催されました。年1回開催されるチャリティーゴルフコンペも、今期で8回目を迎え、ご参加くださる方も年々増えているとのこと。懇親会では、作間副理事長から協力のお礼と現状報告、今後の抱負を述べさせていただきました。

なお、参加協賛金とパネルティ費併せて、447,107円を当協議会にご寄附いただきました。ありがとうございました。

第1回 ほのぼのフォーラム

10月17日(木)、東京・神田のエッサム神田ホールにおいて、第1回 ほのぼのフォーラムを開催いたしました。支援団体の代表者の方々をはじめ、ほのぼの運動参加企業のみならず、各店舗代表者の方々など総勢61名が参加されました。

第1回ほのぼのフォーラムは、2部構成で行われました。第1部の前半では、協議会から上半期の活動報告をさせていただきました。後半では、継続的に支援している9団体のみなさまよりこれまでの活動のプレゼンテーションをしていただきました。支援してきたお金がどういったことに使われたのかを、写真なども交え丁寧に説明してくださいました。今期も約180万円の寄附を実行できました。

第2部では、優秀店舗の表彰の後、恒例のレクリエーションが行われました。じゃんけん大会、時事ネタやたい焼きオペレーションについてのクイズなど楽しく親睦を深めました。

優秀店舗表彰

ほのぼの運動大賞

該当店舗なし

ほのぼの運動貢献賞(7店舗) 順不同

夢ある街のたいやき屋さん 若松町店

夢ある街のたいやき屋さん The Peanuts与野店

おめで鯛焼き本舗店 西調布店

おめで鯛焼き本舗 新百合ヶ丘エルミロード店

おめで鯛焼き本舗 高崎並榎店

おめで鯛焼き本舗 ららぽーと柏の葉店

おめで鯛焼き本舗 ピオニウォーク東松山店

支援先団体(9団体) 順不同

NPO法人 マナーキッズプロジェクト

NPO法人 チャイルドライン支援センター

NPO法人 フローレンス

NPO法人 子育てアドバイザー協会

NPO法人 勇気の翼 インクルージョン2015

NPO法人 東京シューレ

NPO法人 日本園芸療法研修会

一般社団法人 ATARIMAEプロジェクト

NPO法人 FoE japan



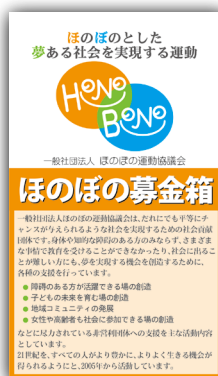
お知らせ

ロゴマークができました

ほのぼの運動協議会のロゴマークができました。地球と太陽と自然をイメージした明るい色に、私たちのテーマが、世界の共通用語になるようにと「ほのぼの」をローマ字にしました。しかもこのロゴ、よく見ると笑顔なんです！ ほのぼのとした笑顔があふれますようにとの思いのこもったロゴマークです。



一般社団法人 ほのぼの運動協議会



募金箱ができました

今後、私たちだけではなくお客様や行き交う人たちにもご協力をいただけるようにと募金箱を作りました。設置にご協力くださる方は、お手数ですが事務局までご連絡ください。

ホームページを新しくしました

一般社団法人化に伴い、独立したHPを作りました。今後、こちらに活動内容を順次掲載していきますので、ご利用、よろしくお願いいたします。(リンク大歓迎)
URL : <http://www.honobono-undo.org>
また、今後 SNS も充実させていきたいと思えます。お楽しみに！！



新年おめでとうございます。年が明けようやく発行することができた“ほのぼの News Letter”。こうして振り返ると、昨年はいまままでより広い視点で社会を見ることができた気がします。そしてみなさまと未来を作り上げるスタートにふさわしい1年だったのではないかと思います。今年も早速忘れな草のイベントの準備に、来期の計画にとワクワクしています。今年の抱負は、積極的にみなさまにお会いすること。今年もみなさまとほのぼの運動ができることを楽しみにしています。今年もよろしくお願いいたします。

副理事長兼事務局長 作間由美子

ほのぼの News Letter No.1

発行日：2014年1月15日

発行：一般社団法人ほのぼの運動協議会

編集制作：ほのぼの運動協議会 事務局

〒164-0012 東京都中野区本町 4-31-12

井口新中野ビル 1F

TEL:03-5328-1275 FAX:03-5328-1280

問い合わせ：jimukyoku@honobono-undo.org